

## 安全データシート

作成日・改定日 2019年7月30日

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

ラストハード55  
(赤サビ固定剤)

会社名  
担当部門

東邦化成工業株式会社  
技術部

住所

〒171-0033  
東京都豊島区高田2-1-12

電話番号

03-3988-3366

FAX番号

03-3985-6975

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

環境に対する有害性

水生環境急性有害性

区分3

\* 記載が無い危険有害性は、区分外、分類対象外、又は分類できないである。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

酸化剤と混合すると発熱する。

長期にわたり粘膜や傷口に接触すると吸収されて肝臓障害を起こすことがある。

ラベル要素

なし

絵表示又はシンボル

### 3. 組成・成分情報

単一物質、混合物の区別

混合物

| 成分            | 含有量(%) | 化審法 | CAS No. |
|---------------|--------|-----|---------|
| 塩化ビニリデン系ラテックス | 90~99  | 非開示 | 非開示     |
| 添加剤           | 1~10   | —   | 記載あり    |

## 4. 応急処置

|                  |  |
|------------------|--|
| 吸入した場合           | 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。                                    |
| 皮膚に付着した場合        | 汚染された衣類を脱ぐこと。<br>皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。<br>皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。<br>汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 |
| 眼に入った場合          | 水で数分間、注意深く洗うこと。<br>コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。<br>眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。                  |
| 飲み込んだ場合          | 口をすすぐこと。<br>気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。  |
| 予想される急性症状及び遅発性症状 | 「11. 有害性情報」を参照   |

## 5. 火災時の措置

|                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 消火剤                 | 水、泡消火剤、粉末消火剤                  |
| 火災時の特定の危険有害性        | 火災時には有害なガスが発生する可能性がある。        |
| 消火を行う者の保護<br>(保護具等) | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

## 6. 漏出時の措置

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 人体に対する注意事項<br>保護具及び緊急時措置 | 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。<br>適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。<br>密閉された場所に立入る前に換気する。 |
| 環境に対する注意事項               | 河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。  |
| 回収、中和                    | 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、覆って密閉できる空容器に回収する。   |

## 7. 取扱及び保管上の注意

|  |  |
|--|--|
| <p><b>[取扱]</b><br/> <b>技術的な対策</b><br/>         (取扱者のばく露防止、火災爆発の防止など)</p> | <p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p>   |
| <p><b>局所排気・全体換気</b></p>  | <p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。</p>  |
| <p><b>安全取扱い注意事項</b></p>  | <p>使用前に取扱説明書を入手すること。<br/>         すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。<br/>         容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。<br/>         粉塵/ミスト/ガス/蒸気/スプレーを吸入しないこと。<br/>         眼や皮膚への接触を避けること。<br/>         飲み込まないこと。<br/>         取扱い後はよく手を洗うこと。<br/>         屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。<br/>         この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br/>         環境への放出を避けること。</p> |
| <p><b>接触回避</b></p>   | <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p>  |
| <p><b>[保管]</b><br/> <b>保管条件</b></p>                                      | <p>換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。<br/>         3℃以下や30℃以上は避け、屋内で保管すること。</p>  |
| <p><b>混触危険物質</b></p>   | <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p>  |

## 8. ばく露防止及び保護措置

|  |  |
|--|--|
| <p><b>管理濃度</b></p>   | <p>設定されていない</p>  |
| <p><b>許容濃度</b><br/>         (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)<br/>         日本産業衛生学会</p> | <p>設定されていない</p>  |
| <p><b>ACGIH</b></p>  | <p>設定されていない</p>  |
| <p><b>設備対策</b></p>   | <p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。<br/>         空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。</p> |
| <p><b>[保護具]</b><br/> <b>呼吸器の保護具</b></p>                                  | <p>適切な呼吸器保護具を着用すること。</p>   |
| <p><b>手の保護具</b></p>  | <p>適切な保護手袋を着用すること。</p>   |

|            |   |
|------------|---|
| 眼の保護具      | 適切な眼の保護具を着用すること。<br>保護眼鏡(普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型) |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な顔面用の保護具を着用すること。                              |
| 衛生対策       | 取扱い後はよく手を洗うこと。                                  |

## 9. 物理的及び化学的性質

|              |         |
|--------------|---------|
| 物理的状態、形状、色など | クリーム色液体 |
| 臭い           | わずかな臭い  |
| pH           | データなし   |
| 融点・凝固点       | データなし   |
| 沸点           | 約100°C  |
| 引火点          | データなし   |
| 爆発範囲         | データなし   |
| 蒸気圧          | データなし   |
| 蒸気密度(空気 = 1) | データなし   |
| 比重(密度)       | 1.1~1.3 |
| 溶解度          | 水と混和する  |
| 分解温度         | データなし   |

## 10. 安定性及び反応性

|            |   |
|------------|---|
| 安定性        | 通常の手扱いにおいては安定である。   |
| 危険有害反応可能性  | データなし。  |
| 避けるべき条件    | 高温、直射日光下での保管<br>3°C以下や30°C以上は避けること。<br>酸化剤及び強アルカリ性物質との混合。 |
| 混触危険物質     | 鉄、アルミ、銅と接触すると凝集する恐れがある。                                   |
| 危険有害な分解生成物 | 火災の際に高温になると、有害な蒸気/ガスが発生する恐れがある。                           |

## 11. 有害性情報

成分データが不十分のため混合物は分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

区分3

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。  
特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。  
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報: 消防法の規定に従う  
海上規制情報: 該当しない  
航空規制情報: 該当しない  
国連番号: 該当しない

特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起さないように運搬すること。  
移送時にイエローカードの保持が必要。  
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
重量物を上積みしない。

## 15. 適用法令

消防法

非危険物

## 16. その他の情報

### 注意

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。  
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。